

人と技術の織りなすものづくり。

— 大阪における「人づくり」のかたちとは —



小さいばね作りに欠かせない道具



川原電機製作所の実技指導動画のひとコマ

社長より外部の人に評価されることでモチベーションは高まる。

—採用についてお聞きしたいのですが、現在はどういった人材を求められていますか。

青山 自社商品の開発に舵を切った後は、開発・マーケティング部門の人材が必要になってきましたので、現在は専門職の中途採用が中心です。

川原 ポリテクセンター関西や学校の先生から紹介いただいたり、派遣でよく働いてくれる人をそのまま正社員に登用することが多いです。最初にお話したマイスター制度の利用や技能検定試験への取り組みを始めたのも、中途採用が多いからです。しかも当社の事業とは畑違いの部門から来られた人が多く、年齢も30歳以上の方が中心。そのため会社が学ぶ機会を用意しなければ、自分から時間を取ることは難しいと考えたからです。

山中 うちの新卒の雇用も今年で5年目。基本的に社員とは「縁があって来てくれているもの」と考えており、役員も同じ考えです。だから私が難色を示しても、現場が「私たちが育てます」と言って採用することもあります。障がい者が入社した場合、周囲の人間が理解する努力をすることも大切です。様子を気にかけないようにして、何かあれば事情を聞いて少し休ませたり。そんな風に社員も変わりましたね。創業者である父も「人は宝」とよく口にしており、それが「人間性を尊ぶ」社風として受け継がれているのかもしれない。

—川原さんは「ものづくりの魅力」を伝える動画の発信もされていますね。

川原 私自身も現場で働いた経験があり、今も「ものづくり

は面白い」という実感を持って仕事をしているので、若者にもものづくりの楽しさを伝えたくて。中途採用で他の分野からきた人でも、実際やってみると面白さは分かってもらえますし。また従業員の10%が女性で、事務職でなく技術職に就いており、彼女たちも何の知識もないところから一から学んでいます。あと女性の場合だと結婚・出産によってリタイアしてしまうのは非常に残念なことだと思います。子どものことで休みを取りやすくしたり出勤時間をフレキシブルにしたりと、当社では継続して働けるように配慮しています。

—社員のモチベーションを上げるために、何かされていることはありますか？

青山 うちの場合であれば業績を上げること、開発に関するテーマが多くあることではないでしょうか。テーマを多く持っている社員は元気です。アイデアに溢れた状態であれば、放っておいても顔色は変わりますよ。

川原 ずっと先代社長の父を見てきて、さらに今年9月に自分が就任して思ったのが、「社長は元気で笑顔でいるのがいちばんだな」と。健康で明るい存在でありたいと思います。

青山 それは大事ですね。あと誰が褒めるかも重要。私が社員を褒めても親が子どもを褒めるのと同じなので、外からどう評価されるかが大切です。社内では「売れた商品＝いい商品」という定義付けをしていますが、そのいっぽうで「大阪ものづくり優良企業賞」のように企業として行政から認証をいただくと、自ずと社内のテンションも高くなります。このように愛情を込めてつくった商品が売れるという形、もしくは公的機関からの表彰という形で外から認められることが、社員にとっては最高のご褒美です。

川原 それはありますね。先日、私どもも「大阪ものづくり優良企業賞」を受賞したのですが、これによって社員の

モチベーションが上がったという手応えがあります。また優れた人材を集めるためのひとつの看板になると思いますし。**山中** 外から褒めてもらうためには、人との付き合いが大切ですね。私がかの周囲を掃除するようになると、それを見た社員が自主的に掃除をするようになりまして。さらにそれを見た近所の人から感謝の言葉をいただいたんですね。そういう小さなことの積み重ねで、社内の雰囲気は良い方向へ変わると思います。社員は家族。ともに成長していきたい。

—最後にみなさんにとって社員とはどういう存在か、また将来に向けての展望をお聞かせください。

青山 自社開発製品のウェイトをもっと上げていきたいですね。それと企業は社会貢献することが大切です。ですから社員は「一緒に社会貢献している家族」という存在ですね。

川原 青山社長のおっしゃるとおり、まさしく社員は家族であり、同志でもあります。会社が長生きするためにも、自分ができる限りのことをしていきたいです。

山中 当社は私が生まれたときに創業したので今年で63年です。これからは百年企業を目指したいですね。百年目を迎える頃には、新卒の社員が60歳になっているので、「百年続く会社になるためには何が必要か？」をみんなで考えて進んでいきたい。若い社員は次世代を託す後輩であり同僚、社員は仲間であり子どもでもある。それぞれの持ち味を付加価値として全員がものづくりに関わり、社員やその家族と地域の人たちが気軽に来ていただける、安心できる会社を目指していきます。

TODAY'S MEMBER



「理論×創造」の力で、新たな価値を生み出す専門集団。

世界初をカタチにする開発会社サンパックは、家庭用雑貨・健康・美容用品の企画・設計・デザインを手がける。長年の受託企画開発事業で蓄積された創造力や構造設計力、自社工場での生産力をフルに集結し、これまでにない価値をカタチにして発信。近年注力する自社商品開発では、テーマ毎に関連する大学や専門機関との提携し、科学的実証に基づいた新ジャンル商品の開発を展開し「フットグルーマー」などヒット商品を生み出している。「大阪ものづくり優良企業賞2015」受賞企業。

株式会社サンパック

吹田市江坂町 1-17-14
TEL. 06-6369-5681 <http://www.sunpac.co.jp/>

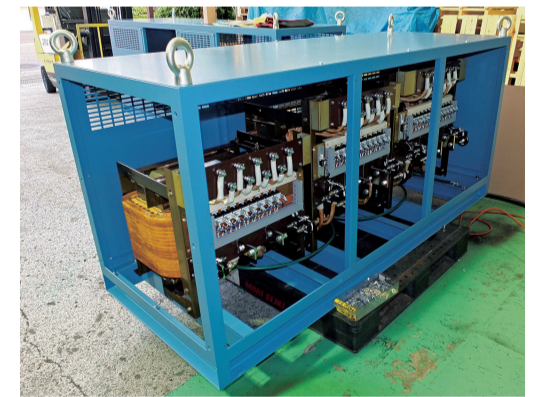


匠の技の継承、技能士資格への挑戦「百年企業」を目指して。

60余年、線バネ加工一筋で培ったノウハウと技術力を強みに家電をはじめ生活関連、各種プラントなど広範な産業分野で同社の提案・技術開発力に定評がある富士発条。その高度な技術に複雑なオーダーメイドの発注も多い。最新の機械と伝統的な道具を用いた手作業の融合でつくられるバネは芸術品のような美しさを放つ。この匠の技を若手につなぐ体制作りや技能士資格への挑戦、同時に新卒、障がい者雇用の積極的取り組みなど人材育成においても評価が高い。「大阪ものづくり優良企業賞2014」受賞企業。

富士発条株式会社

大東市諸福 3-10-1
TEL. 072-871-5161 <http://www.fuji-spring.co.jp/>



大電圧・大電流の電源制御技術で、どんなオーダーにも全力で応える。

変圧器メーカーとして1973年に創業した川原電機製作所。巻線の技術と新冷却方式を採用した小型軽量の集魚灯用メタルハライド安定器や省電力システム機器として節電器を開発し、海外市場に向けたIECやEN規格の認証を受けた変圧器を製造。1996年にはTUV Rheinlandによる製品と工場の検査に合格。現在はさらに製品の幅を広げ、RL負荷装置、電力調整電源ユニット、検査・医療用装置など顧客のニーズに合わせ製作。2006年6月にISO9001の認証を取得。「大阪ものづくり優良企業賞2016」受賞企業。

株式会社川原電機製作所

柏原市円明町 1000-86
TEL. 072-977-7090 <http://www.kew-jp.com/>